

私は、日本共産党を代表して、議案 11 号令和 6 年度野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について反対する立場で討論します。

この議案は、国民健康保険事業に対するマイナンバー制度を促進する補正の内容です。マイナンバー制度に関しては、日本共産党野田市議団は、政府が国民掌握の立場から進めているものであり、個人情報保護の観点からも問題がある制度であることを指摘し、反対してきました。

任意であるマイナンバーカードを全国民に強制し、そのマイナンバーカードには、マイナポータルとして、納税状況、医療、年金などの保険料納付と受けたサービスの状況、公金受取口座、さらには、がん検診など、受けた健康診断とその結果や生活保護、児童扶養手当の支給、雇用保険の支給など、29 分野の膨大な個人情報がひもづけられています。

日本共産党は、国民の所得、資産、社会保障給付を把握し、国民への徴収強化、給付削減を押しつけるマイナンバー制度は反対であり、廃止すべきと求めています。

よって、この議案第 11 号令和 6 年度野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）に反対します。